

当センターの廣嶋悠一医師、吉村洋祐放射線診療技師が 「第13回茨城放射線腫瘍研究会」にて優秀演題賞を受賞

茨城県内の放射線治療の発展を目的に放射線治療に従事する医師や看護師、技師等で組織される「茨城放射線腫瘍研究会」の第13回大会にて、当センターの廣嶋悠一医師、吉村洋祐診療放射線技師がそれぞれ優秀演題賞を受賞しました。

今後も県内の放射線治療の発展に向け、大学附属の医療機関ならではの高度な治療の検討とともに、県内放射線腫瘍医との連携強化を行ってまいります。

医療部門「治療困難例に対する、スペーサーを併用した陽子線治療」



右：筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 櫻井 英幸教授 左：廣嶋 悠一医師

技術・看護部門「陽子線治療時の IGRT における被ばく線量の推定」



左から、熊田准教授、山梨氏、榮教授、吉村診療放射線技師、安岡講師、神澤研究員